

# ワークロードを考慮した トランスフォーメーションで 最適な組み合わせのIT環境を 実現する

HPEワークロードポータビリティサービス

未来の成功はスピーディーさにかかっています。アイデアエコノミーにおいては、今あるアイデアを他社より早くサービスや製品に変えることができなければ、成功を勝ち取ることはできません。デジタル破壊のスピードが加速する世界では、新たなアイデアにどのように投資し、新たなビジネスチャンスを獲得し、ビジネスの脅威となる競合他社にどのように対抗するかを常に自問する必要があります。ところが、テクノロジー主導の世界においては、アプリケーションやワークロードの開発や展開によって、アイデアを現実に転換しようします。このようなアプリケーションこそが、デジタル破壊の中心であり、価値実現までの時間の短縮と魅力的なユーザー体験を促す、競争優位性をもたらす要素となるのです。このような新しい形のアプリケーションが、アイデアエコノミーのビジネスを推進し、我々の社会や生活を変革させる原動力となります。

ハイブリッドインフラストラクチャへの変革によって、従来型、プライベート、およびプライベートのクラウド環境における、アプリケーション、ワークロード、サービスの管理性が向上し、強化されます。すなわち、それぞれのアプリケーションやワークロードに最適なITに紐付けることで、アプリケーションのパフォーマンス、コスト、俊敏性を向上させる方法を見つけるのです。HPEは、ハイブリッドがあらゆる環境に対応する唯一の答えとなるのではなく、最適な組み合わせのITプラットフォームを選択することが、それぞれの企業のビジネスを前進させる最良の方法であると考えます。

クラウドの採用やミッションクリティカルITワークロードのハイブリッドプラットフォームへのミッションクリティカルITワークロードのハイブリッドプラットフォームへの移行に対する多額の投資が進む中、実証済みの方法論、プロセス、ツールを利用してトランスフォーメーションを成功させることが重要になりました。HPEワークロードポータビリティサービスは、業界にとらわれないターンキーソリューションを提供することで、最適な組み合わせのITへの高速かつリスクの少ない方法での移行を可能にします。

ワークロードの移行にあたっては、次のような課題に直面します。

- **コスト:** オンプレミスITでは、人、テクノロジー、設備のコストがある程度確定していますが、常にその額は上昇します。クラウドのコストはよくわからないため、魅力的であるように思えますが、計画の段階で予測できないと訴えるお客様も少なくありません。クラウドサービスの場合は、実際の利用率やコストが計画時とかけ離れたものになることも少なくありません。
- **トランスフォーメーションのリスク:** トランスフォーメーションの試行においては、問題が発生したり、必要なスキルが不足していることがわかったりしたために、後戻りを余儀なくされることもあるでしょう。ITインフラストラクチャのサーバー、特に、VMのクラウドへと移行を検討し、VMをそのままクラウド環境へと移動する例が多く見られます。クラウドのコンピュータリソースをそのまま使用するのにはベストプラクティスとは言えません。ワークロードとクラウドサービスの最適な組み合わせを選択しなければ、コストが増大したり、パフォーマンスが悪化したりする可能性があります。ワークロードのクラウドへの移動が適切に行われないと、組織全体のリスクが拡大する恐れもあります。

- ポータビリティ:**1つのクラウドプラットフォームに絞り込むのは、多くの企業にとって適切な選択ではありません。ワークロードのポータビリティによって、クラウドの潜在能力を最大限に引き出すことができます。ワークロードが固定され、ポータビリティを妨げるIT環境へと移行すると、コストやリスクが増大し、クラウドへと移行してアジリティを向上させるという本来の目的を果たせなくなります。
- スピード化、複雑さの軽減:**エンタープライズ環境の何千ものワークロードを1つずつ評価し、移行する作業は、時には数年も要する複雑なプロセスであり、「クラウド」への移行という目的を達成できなくなる恐れがあります。そのようなプロセスに必要なとされるスキルセットの習得には時間がかかりますが、本来であれば、ビジネスに近いプロジェクトに取り組むべきでしょう。

## HPEワークロードポータビリティサービス

このフレームワークは、ソリューション、サービス、およびツールで構成され、クラウドへの中規模から大規模のITトランスフォーメーションをサポートするさまざまな活動によって、お客様を支援します。HPEは、このフレームワークのサービスによって、業界をリードする経験に基づく、クラウドへの移行プロジェクトの成功に必要な支援をお客様に提供します。これらのサービスを利用することで、お客様は、業界標準の任意のプライベート/パブリッククラウドプラットフォームを選択し、共通のトランスフォーメーションモデルを構築できるようになります。ビジネス優先度、エンタープライズクラウド標準、および導入の成熟度に基づき、段階型アプローチに対応する複数のサービスやツールの中から、必要なオプションを選択できます。

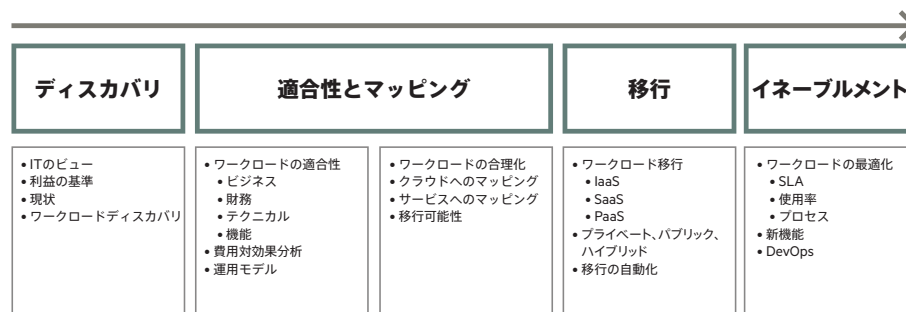


図1. ワークロードポータビリティサービス

HPEの段階型クラウドポータビリティアプローチは、以下のサービスセットで構成されます。

**Workload Discovery for Cloud**サービスでは、クラウドへの移行の候補となるワークロードを特定します。このモジュールでは、自動化されたツールとプロセスを使用してコンピューティング環境のワークロードを特定し、トランスフォーメーションによってもたらされるメリットのベースラインを作成し、運用のギャップを特定し、実行プロジェクト計画を作成します。Workload Discovery for Cloudサービスは、対象となるIT環境の規模や複雑さに基づくお客様のニーズに合わせてカスタマイズできます。自動化とツールによって、ワークロードの特定を合理化し、アプリケーションとサービスの関連性マッピングし、業界標準のベストプラクティスを採用することで、より効率的かつシンプルに、クラウドへの移行対象となるワークロードの特定が可能になります。

**適合性およびマッピングサービス**では、ターゲットであるクラウドプラットフォームに対するワークロードの適合性を測定できます。このプロセスによって、お客様は、アプリケーションをクラウドプラットフォームでホスティングできる可能性を予測し、クラウドプラットフォームへと移行するメリットがあるかどうかを判断できます。クラウドに対するワークロードの適合性の評価にあたっては、ビジネス、技術的、財務的、および機能的な複数の基準を使用できます。ワークロードの適合性については、複数のクラウドプラットフォームや業界標準に対して同時に実行できます。HPE独自の自動化されたワークロード合理化プロセスにより、お客様は、ビジネスや技術的な優先事項に集中できるようになります。HPEのワークロード適合性/マッピングエンジンによって、ワークロード合理化プロセスが自動化されるため、業界標準の複数のクラウドターゲットに適合するワークロードの特定と分類のプロセスが加速します。これらのツールを使用することで、お客様は、クラウドワークロードポータビリティのブループリントを迅速に作成し、クラウド移行プロジェクトを成功させるためのベースラインとして利用できるようになります。適合性分析においては、複数の運用/展開モデルと、コストメリット分析によるクラウドトランスフォーメーションROI予測も考慮されます。

**ワークロードマッピング**では、コンサルティングとツールベースの自動化機能によって、ワークロードを適切なクラウドターゲットにマッピングし、クラウドインフラストラクチャとサービスの適切な組み合わせの使用を想定した推奨事項を作成します。HPEコンサルタントは、これらの推奨事項を使用して、移行を成功させるためのクラウド移行設計を作成します。

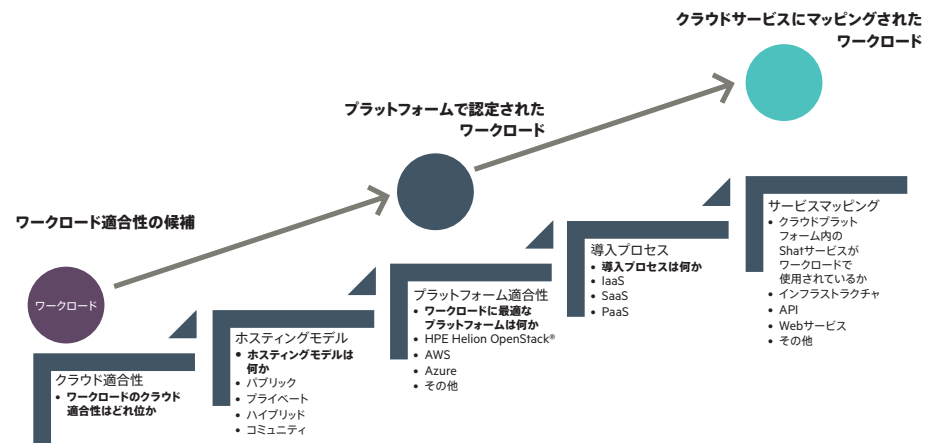


図2. ワークロードの適合性分析とマッピング

**ワークロード移行**サービスでは、複数の異なるツールと展開モデルを使用して、お客様が選択したクラウドプラットフォームへとワークロードを移行します。IaaS (Infrastructure-as-a-Service) などのシンプルなホスティングモデルだけでなく、クラウドのROIを最適化する、PaaS (Platform-as-a-Service) やクラウドネイティブなどのモデルも選択できます。これらのサービスでは、自動化されたツールベースの移行プロセスが使用されるため、トランスフォーメーションのリスクの軽減に必要な、広範囲の設計とデューデリジェンスが実現します。この移行サービスは、プラットフォームに依存せず、プライベート、パブリック、およびハイブリッドのクラウドプラットフォームとさまざまな展開モデルをサポートします。

**ワークロードイネーブルメント**サービスでは、ワークロードによるクラウド機能の有効活用を推進し、クラウドのROIを最適化します。これらのコンサルティングサービスによって、最適化されたクラウド環境の管理とメンテナンスに必要なITプロセスを習得し、適応することができます。これらのプロセスには、セルフサービス、自動化、およびDevOpsの導入などの運用プロセスが含まれます。これらのサービスによって、ワークロードの最適化とプロセスの改善が可能になり、クラウドトランスフォーメーションのROIを向上させることができます。

HPEは、ワークロードポータビリティサービスを通じて、独自の方法によるハイブリッドITへのトランスフォーメーションを実現します。そして、ツールを活用したディスカバリサービス、適合性およびマッピングサービス、移行サービス、およびイネーブルメントサービスによるモジュール型アプローチで、規模と複雑さに関する問題を解決します。クラウドへと移行するべきワークロードを特定して評価し、ワークロードをクラウドまたは従来型ITのいずれかに正しくマッピングし、自動化された方法を使用しながら、任意のペースで移行できるようになります。また、移行のメリットを最大限に活用するための、ワークロードごとの適切な配置と運用方法をHPEが支援します。

ポートフォリオの範囲、コスト、現在および詳細のITサービスの混在によるリスクを理解して、移行の複雑さとリスクを軽減することができます。それぞれのワークロードが正しい場所に配置され、ビジネスに最適なパフォーマンス、コスト、リスクプロファイル、および運用モデルが実現し、ビジネスの要件に合わせて将来的に変更できる、移植性を備えたワークロードが完成します。HPEワークロードポータビリティフレームワークによって、プラットフォームに依存しないプロセスを採用し、リスクの少ない方法でクラウドへと移行できるようになります。

HPEのワークロードポータビリティフレームワークは、プラットフォームに依存しないアプローチで、クラウドへと移行するお客様を支援します。標準のオープンフォーマットを使用し、クラウドの展開と管理のベストプラクティスに沿った方法で、プライベート、パブリック、およびハイブリッドのプラットフォームへとワークロードを確実に移行できます。ワークロードパフォーマンスとクラウドの有効利用と最適化を目的とする、イネーブルメントサービスは、ワークロードとプロセスのチューニングによって、クラウドのROI実現を加速させます。

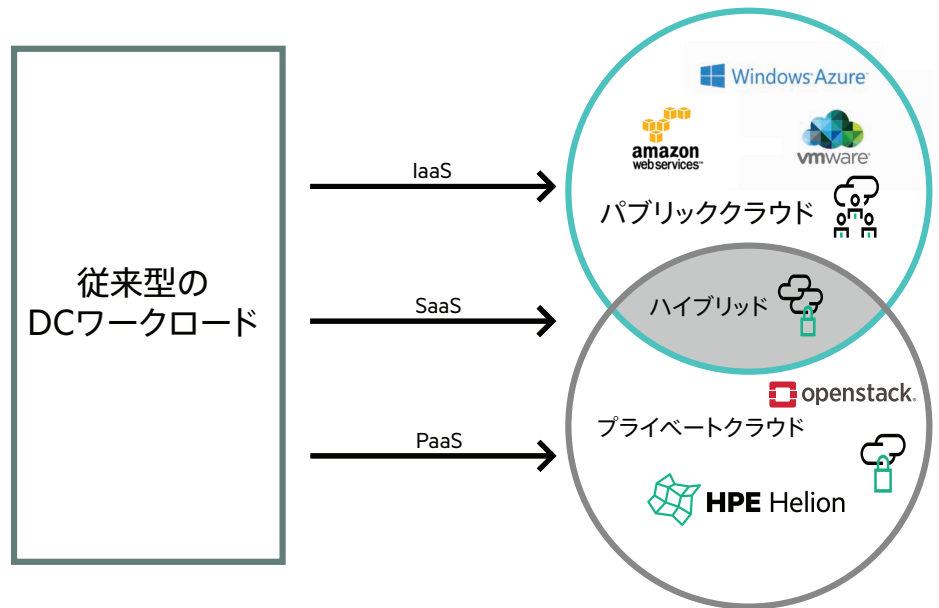


図3. プラットフォームに依存しない移行アプローチ

ワークロードポータビリティサービスでは、HPE独自のフレームワークを活用して、コンサルティングサービスを提供します。革新的ツールと自動化の利用によって、推量や手動の作業への依存を解消し、広範囲のポートフォリオに対応します。これらのサービスは、ヒューレット・パカード エンタープライズのコンサルティングチームによって提供されます。経験豊富なコンサルティングチームとパートナーのエコシステムをグローバルに展開するヒューレット・パカード エンタープライズを、最適のITパートナーとしてご活用ください。

## 詳細はこちら

<https://www.hpe.com/jp/ja/services.html>

## メールニュース配信登録